



Medicine-Based Town

MBT

VOL. **11**
September 2022
CONSORTIUM

医学を基礎とするまちづくり

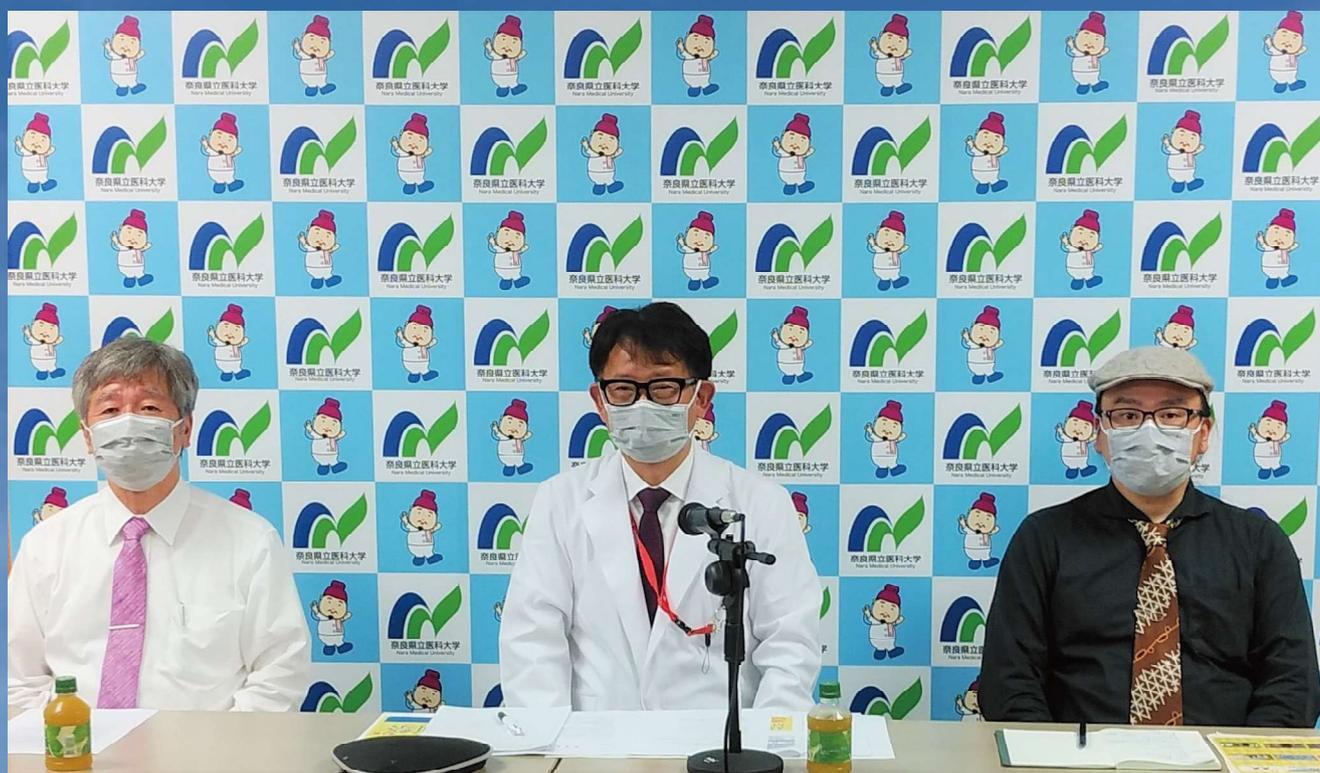
MBT難病克服キャンペーン

特集

1) 協賛企業の募集

2) 難病克服支援WEBセミナー

3) MBT映画祭



2022年7月22日に行った「第2回MBT映画祭」作品募集記者発表（WEB開催）の様子
（左から、細井裕司奈良医大理事長・学長、川口昌彦奈良医大教授、西尾孔志映画監督）

MBT 難病克服キャンペーン

MBTコンソーシアムは奈良医大と連携して、難病に関わる研究者及び、難病に携わる人々や組織を支援する「MBT難病克服キャンペーン」を重点活動として取り組んでいます。

その取り組みは、

- 1) 目的達成に、それぞれの立場で貢献していただける協賛企業の募集
- 2) 難病の現状を啓発するセミナーの開催
- 3) 「みんなで守るいのち」をテーマに視覚から訴求するMBT映画祭の開催

の3本柱で進めています。

1) 協賛企業の募集 ～社会貢献を一緒に推進しませんか～

本キャンペーンの最大の狙いは、希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく事です。そのため連携して活動をいただく**協賛企業を募っています**。

また、事務局は貴社の貢献しやすい協賛方法を相談させていただきます。例えば、「難病克服キャンペーン」への協賛や参加の事例は以下の通りです。

事例	協賛方法
協賛商品、サービスの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージにロゴマークのシールを貼付又は印刷して商品を販売 ・加えてMBTコンソーシアムのQRコードも追加して協賛内容を紹介 ・チラシ、パンフレットにロゴマークやQRコードを印刷して協賛内容を紹介
共通の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・自社ホームページでMBT難病克服キャンペーンの協賛内容を紹介 ・種々のイベント実施時の案内(広告、チラシ、ポスター等)で協賛内容を紹介 ・新聞、WEBメディア、SNS、などを活用して協賛内容を紹介 ・キャンペーンに協賛してMBTコンソーシアムへの寄付金で支援



○協賛方法の事例



○参加企業様の社会貢献をMBTコンソーシアムがPRした事例

MBT MBTコンソーシアムは、難病に苦しむ人々を支援する「**MBT 難病克服キャンペーン**」を推進しています。

1. 協賛企業独自の活動(協賛金無料)
 - ①商品、サービスのチラシ、パンフレット、「ロゴマーク」ポスター等にロゴマークを印刷
 - ②ホームページや広告などでキャンペーンを紹介
2. 第3回 WEBセミナー
 - 配信: Zoom ウェビナー (無料)
 - 日時: 2022年9月17日(土) 15:00-16:30
 - 参加無料(申込みは右記二次元コードから)
3. 第2回映画祭
 - 日時: 2023年 1月14日(土) 12時開会
 - 場所: 有楽町マリセン 11F 有楽町朝日ホール
 - 入場無料(申込み方法の詳細は9月頃HPにて公開)

協賛企業: 近畿日本鉄道株 日本生命保険(相) 損害保険ジャパン株 大樹生命保険株 株三井住友銀行 株南都銀行 城南信用金庫 奈良中央信用金庫 吉本興業株 クオール株 株三笠 マクセル株 UHA味覚糖株 (一財)弘済会 明晃化成工業株 レック株 大和リゾート株 THE KASHIHARA 株アイ・オー・データ機器 オーブ・テック株 ナノソリューション株 オーニット株 カルテック株 株インデックスコンサルティング シンクス株 MBTリンク株

詳しくは **MBTコンソーシアム** 検索 **協賛企業** **MBTコンソーシアム** **奈良県立医科大学**

2022/5/2
産経新聞(東京23区版)

2022/7/7
産経新聞
(大阪版、北河内版、堺泉北版)

日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会抄録集

MBT ediche-based own 難病克服と社会貢献

MBE ediche-based own 難病克服と社会貢献

MBTコンソーシアムは、奈良県立医科大学と連携し、医学を通して新産業創生と、社会貢献活動を推進する一般社団法人です。

MBTコンソーシアムは、難病に苦しむ人々を支援する「**MBT 難病克服キャンペーン**」を推進しています。

1. 協賛企業独自の活動(協賛金無料)
 - ①商品、サービスのチラシ、パンフレット、「ロゴマーク」ポスター等にロゴマークを印刷
 - ②ホームページや広告などでキャンペーンを紹介
2. 第3回 WEBセミナー
 - 配信: Zoom ウェビナー (無料)
 - 日時: 2022年9月17日(土) 15:00-16:30
 - 参加無料(申込みは右記二次元コードから)
3. 第2回映画祭
 - 日時: 2023年 1月14日(土) 12時開会
 - 場所: 有楽町マリセン 11F 有楽町朝日ホール
 - 入場無料(申込み方法の詳細は9月頃HPにて公開)

協賛企業: 近畿日本鉄道株 日本生命保険(相) 損害保険ジャパン株 大樹生命保険株 株三井住友銀行 株南都銀行 城南信用金庫 奈良中央信用金庫 吉本興業株 クオール株 株三笠 マクセル株 UHA味覚糖株 (一財)弘済会 明晃化成工業株 レック株 大和リゾート株 THE KASHIHARA 株アイ・オー・データ機器 オーブ・テック株 ナノソリューション株 オーニット株 カルテック株 株インデックスコンサルティング MBTリンク株

詳しくは **MBTコンソーシアム** 検索 **協賛企業** **MBTコンソーシアム** **奈良県立医科大学**

【協賛企業:30社(2022年8月末現在)】

- 近畿日本鉄道株 日本生命保険(相) 大樹生命保険株 損害保険ジャパン株 株三井住友銀行 株南都銀行 城南信用金庫 奈良中央信用金庫 吉本興業株 クオール株 株三笠 マクセル株 UHA味覚糖株 (一財)弘済会 明晃化成工業株 レック株 大和リゾート株 THE KASHIHARA 株アイ・オー・データ機器 オーブ・テック株 ナノソリューション株 オーニット株 カルテック株 株インデックスコンサルティング シンクス株 株Bonrich 株Yu Vision 株奈良ホテル (公財)奈良先端科学技術大学院大学支援財団 やまと真空工業株 MBTリンク株

2) 難病克服支援WEBセミナー

○第2回難病克服支援WEBセミナー

第2回”難病克服支援WEBセミナー“が3月5日(土)15時よりWEBで開催されました。

第2回目は、手足が不自由で車椅子生活の患者に24時間寄り添って生活を支援する介助犬のお話を日本介助犬協会専務理事の高柳友子氏から、筋の萎縮が進行する筋ジストロフィー治療や研究に携わる医療現場のお話と患者家族の視点のお話を東京女子医科大学の石黒久美子氏から、いただきました。

高柳氏の講演には、多発性硬化症の患者が介助犬と共に生活するデモンストレーションも含まれており、介助犬の果たす重要な役割が理解できました。



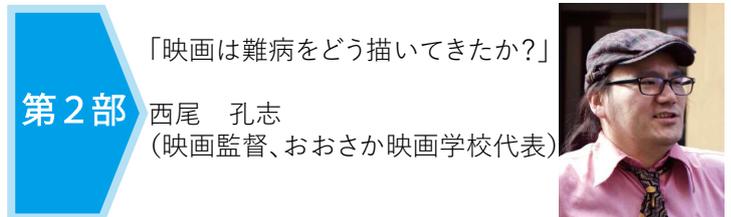
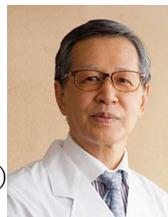
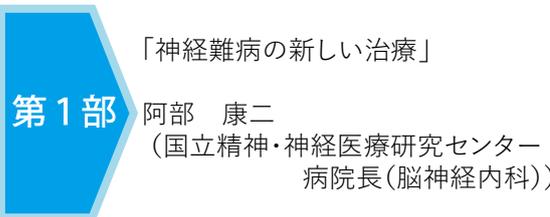
「犬と共に笑顔になる🐶
介助犬による自立と社会参加」
高柳 友子
(日本介助犬協会専務理事)



「病気と闘う子供たちが、
明日を楽しみに思える未来」
石黒 久美子
(東京女子医科大学小児科助教
小児神経科医)

○第3回難病克服支援WEBセミナー(9月17日(土)15:00~16:30)

第3回は、神経難病の新しい治療方法について医療現場で難病に立ち向かう阿部康二氏に、映画において難病はどう描かれてきたかについて映画監督の西尾孔志氏にご講演をいただきます。



Column エム・ビー・ティ

企業活動、研究活動成功のために
MBT を御利用ください!

MBTコンソーシアム理事長 細井裕司



企業活動・研究活動を成功させるための条件として、

- ①シーズが優れていること、 ②その応用製品などが多くの人の役に立つこと、
 - ③シーズを磨いてより人の役に立つ製品やシステムを作ること、
 - ④多くの人がその製品が良いと認識すること、 ⑤企業や研究機関が社会から信頼されること、
- が挙げられます。

MBTコンソーシアムは奈良県立医科大学と連携して、これらについて下記のお役に立てると思います。

- ①シーズを提供します。 ②研究成果を製品にするお手伝いをします。
- ③医学の専門家をはじめ異業種の知識を投入します。
- ④ジャーナル・ニュースレターの発行、マスコミ掲載(過去の実績300回以上)、東京地下鉄の広告、SNSなどを通じた広報活動を行っています。
- ⑤MBT コンソーシアム宣言、難病克服キャンペーンなどを通じて社会に貢献しています。

3) MBT映画祭

○「けいはんな映画劇場」で第1回MBT映画祭受賞作品を無料上映

3月19日(土)10時と14時からの2回、関西文化学術研究都市機構(通称:けいはんな(京都府精華町))のけいはんなプラザ“メインホール”にて「けいはんな映画劇場」が開催され、その中で難病克服の啓発目的で製作された第1回MBT映画祭受賞作品4本を上映しました。

「けいはんな映画劇場」は、(株)けいはんなが、名画や不朽の映画作品を京阪奈地域の近郊住民を対象に、これまで300回を超えて毎月上映会を行っている取り組みで、今回も200人を超える住民が観覧されました。

映画上映に先立ち、細井裕司理事長は“MBT映画をご覧いただき、希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者様や家族の苦境を多くの人に理解していただき、難病に関わる人々や組織を支援する想いをぜひ持っていただきたい”と挨拶しました。



○NHKによる映画祭のドキュメント放映

難病克服啓発活動の一環で、『みんなで守るいのち』をテーマに、奈良医大とMBTコンソーシアムが実施の”MBT映画祭“に、脳神経内科杉江和馬教授が主治医を務める難病患者とそのご家族の協力を得て、奈良医大の学生有志が啓発映画作品制作に挑みました。そして、1月8日の第1回MBT映画祭において上映されました。

本取り組みに賛同したNHK奈良放送局には、この作品の制作当初から取材しドキュメント番組の制作を企画、推進していただいております。そして、6月2日(木)の「奈良ナビ」(18:30~19:00)において放映、6月7日(火)にはNHK関西NEWS WEBに掲載されました。



○第2回MBT映画祭、開催決定

第2回は、奈良を離れて2023年1月14日(土)12時から、東京の有楽町マリオンの「有楽町朝日ホール」にて開催する事になりました。また、上映と併せて衆議院議員の野田聖子氏による特別講演も行います。作品募集期間は8月1日から既に開始しており、11月25日まで受け付けます。観覧募集は9月からの予定です。

開会式	12:00	
入賞作品 上映	12:30	受賞候補作品上映
特別講演	14:50	野田聖子衆議院議員 「医療的ケア児との人生」 
特別上映	15:20	『Coda コーダあいのうた』
トーク セッション	17:30	受賞候補者と審査員 によるトークセッション 
授賞式	18:40	審査結果発表と表彰
閉会	19:30	

難病克服支援 第2回
MBT映画祭
上映と特別講演

参加無料

2023年1月14日(土) 12:00~19:30
場所: 有楽町マリオン11階 有楽町朝日ホール

1. 2022年度理事会役員体制

2022年度は役員改選の年となっていましたので、理事会役員の改選を行いました。その結果、理事長と5名の理事が再選され、4名の新理事が誕生しました。

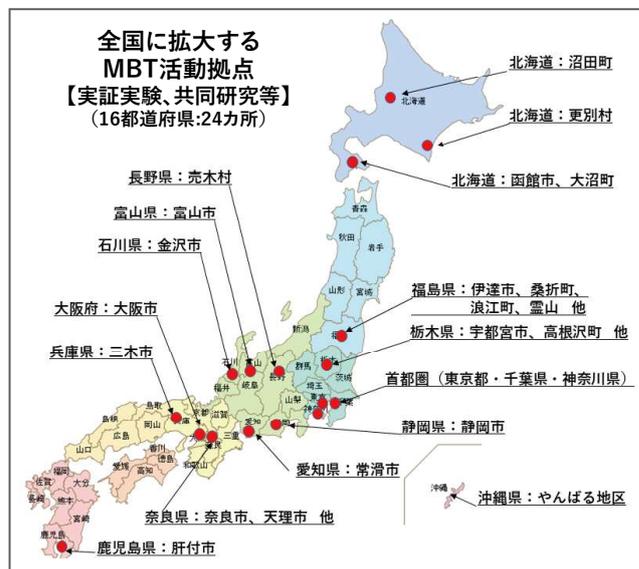
役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
理事長	細井 裕司	公立大学法人奈良県立医科大学	理事	柄澤 忍	クオール株式会社
理事	矢尾 雅義	凸版印刷株式会社	理事	新 森本 壮一	奈良県庁
理事	井垣 貴子	株式会社健康都市デザイン研究所	理事	新 西岡 幹雄	橿原市役所
理事	新 古橋 宏次	富士通Japan株式会社	理事	宇都宮弘和	公立大学法人奈良県立医科大学
理事	新 谷川 智樹	関西電力株式会社	監事	清水 英治	株式会社南都銀行

2. MBTの全国活動拠点紹介

内閣府が推し進めるデジタル田園都市国家構想^{*}において、MBTリンク(株)が実現に向けて伴走支援していた「更別村SUPER VILLAGE構想」が採択され、TYPE3の推進交付金5億円が交付される事が決定しました。

「更別村SUPER VILLAGE構想」とは、北海道更別村において、高齢者が生きがいを見出し、好きな趣味の時間を好きなだけ過ごせる「趣味系サービス」と「健康系サービス」、さらにはいつでもどこでも医療サービスのサポートを受けられる「医療系サービス」の3つの基本サービスと、それを支えるコミュニティナースのサービスを提供するものです。MBTリンク(株)が健康分野を担当しています。

^{*}地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことで、世界とつながり、デジタル実装を通じた地方活性化を推進するための構想



3. 経団連「地域協創アクションプログラム」への参加

一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)・MBTコンソーシアム・奈良医大の3者の共催による表題タイトル「地域協創アクションプログラムWEBセミナー」を、本プログラムの先陣を切って4月11日(月)午前、経団連会員、MBTコンソーシアム会員、奈良医大教職員等から、約80名の参加で実施しました。

本WEBセミナーでは、経団連上席主幹の大橋泰弘氏の司会で、

◆講演1: 細井裕司(奈良県立医科大学理事長・学長)

「MBT(Medicine-Based Town医学を基礎とするまちづくり)～貴社の新ビジネスに医学を投入しませんか～」

◆講演2: 笠原敬(奈良県立医科大学感染症センター教授)

「医学的に正しい新型コロナウイルス感染対策と実際の相談事例による具体策の提案」の講演を行いました。

コロナ感染対策の根幹対策は「3密(密閉、密接、密集)回避」ではなく、医学的に正しい「3感染ルート(接触・飛沫・エアロゾル)遮断」であること、そして“命の防衛”“企業の防衛”のために企業や団体に所属する個人に正しい感染対策教育が重要であることを“MBTコロナ克服キャンペーン”で積み上げてきた具体的実績を紹介しながら訴えました。また、MBTコンソーシアムへの参加や医学的相談を経団連会員に呼びかけました。



4. 最近のMBTロゴマーク許諾と表示商品

MBTロゴマーク付商品化企業名	MBTロゴマーク表示事例
株式会社ゼノン	～洗浄・除菌・消臭・防錆～ ZENON 特殊アルカリ電解水(pH12.7) "ピュアステラ" リニューアル予定(2022年度)
株式会社イムラ	奈良県吉野郡川上村の吉野杉を使った内装材および構造材(表示方法検討中)



5. 在宅遠隔医療部会活動

○分科会活動全般

MBTコンソーシアムでは、超高齢社会が進む中、今後在宅における医療機会の増加が予想されることから、MBTの理念に適切に超高齢社会に貢献できるMBT在宅医療ビジネスモデルの検討を行う「MBT在宅遠隔医療部会」を3月に立ち上げました。

その後、在宅遠隔医療分野に関りや関心を持つ奈良医大の医療関係者や、会員企業と進め方について意見交換を行ってきました。現在、下表に示すように、奈良医大医療者3人が参加する3つの分科会で検討を開始しています。そして、これらの成果の合体を将来検討することにします。

在宅の医療、看護等の事業や、遠隔医療や通信事業等に進出を検討している会員企業の参加を募集します。

部会名	分科会名	取り組み目標	奈良医大医療関係者	現在の参加会員企業
在宅遠隔医療	全国対応	富裕層を対象とした医療相談サービスの仕組み、ビジネスモデルの検討	梅岡比俊 (MBT特命講師)	医療法人梅華会 クオール(株)、他
	地域支援	「奈良医大在宅医療支援センター」の活動を支えるハード、ソフトビジネスの検討	西尾健治 (総合医療学教授)	エアウォーター(株)、他
	在宅看護	在宅医療、看護や看取り活動を支えるハード・ソフトビジネスの検討	小竹久実子 (在宅看護学教授)	イムラ封筒(株)、他

OMBT在宅看護分科会 「講演と鼎談」の開催

在宅医療ケア現場の現状と将来展望 ～奈良のへき地医療ケアを考える～

超高齢社会の深まりに伴い、在宅医療ケアのニーズが増大し、その対応が全国の各地域で進められています。その対応事例について、現状の内容や課題、更には将来の展望について、この分野に深く関わる著名な皆様の講演と鼎談(ていだん)を通し、学びや一緒に考える機会を設定いたしました。

- ・日時:令和4年8月24日(水) 15時～17時
- ・会場:奈良医大看護学科1F第2合同教室 及び ZOOM
- ・司会:小竹久実子氏(奈良県立医科大学 医学部看護学科教授)
- 基調講演:宇都宮宏子氏(在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス)
「地域で暮らし、そして”生ききる”に伴走する医療の在り方」
～退院支援から、入院予防プログラムへ～



鼎談:宇都宮宏子氏と2名のゲスト

- 加藤久和氏(宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会代表理事)
「地域包括ケアを推進するためのまちづくり」～宇陀けあネットの効果と課題～
- 野村佳香氏(医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 看護部長)
「在宅看護の現状と課題」



MBT活動トピックス

MBTコンソーシアム会員企業、全国各地域の看護や介護、地域包括ケアシステム等に関わる皆様が、現地参加26名、WEB参加124名、合計150名参加され、この分野の関心の高さを窺うことができました。

宇都宮宏子氏の基調講演では”看護者には患者の意志を尊重し、入院看護時から退院後の在宅移行にむけた地域包括システム視点での接し方が重要”と強調されました。

鼎談に先立ちゲスト2名が講演され、加藤久和氏は”医療情報と介護情報を一元化した双方向性システムで、2019年から本格運用を行い、86施設で7000人を超す地域住民参加の宇陀けあネットの効果と課題”を紹介されました。野村佳香氏は”情報共有iPadを活用した訪問介護支援システム紹介と地域の思いに 応えるためのお断りゼロ、お待たせゼロの取組”を紹介されました。

鼎談では、地域病院の電子カルテや外来患者の看護師記録も情報共有できる宇陀けあネットの様な情報共有ツールの重要性を認識し、住民にプラスとなるコストパフォーマンスにすぐれた運用が論じられました。

6. MBT研究所特命教授、講師の講演

長榮周作MBT特命教授

【前パナソニック(株)会長】

2022年5月16日

「剣道と経営」



長榮氏は、剣道歴62年、7段の達人で、剣道で究めた人生哲学と、49年の会社人生や経営から学んだ悟りを、医学や看護人生の出発点に立つ若い皆様に語りかけられました。そして、「目標は高く持つ」「想いと違っても腐ったらあかん」「ヒューマンスキルの重要性」「攻防一体」「下位上達」「中心管理職であるべき」「自律と行動」等の言葉で励まされました。最後に、自らの座右の銘は「守破離(しゅはり)」という言葉で、「基本に忠実」「自分の殻を破る」「自分流を作る」、を心掛けて生きてきたことを紹介されました。

森雅彦MBT特命教授

【DMG森精機(株)代表取締役社長】

2022年5月30日

「工作機械の世界とDMG森精機の経営ビジョン」



森氏は、世界に誇る最先端の工作機械の現状を説明され、複雑な立体形状からなる体内埋め込みインプラント部品の金属加工など、医療に関わる最先端の内容も紹介。後半では、グローバルビジネスの世界でも、医学の世界で生きるにも、これからの時代を担う者として特に必須スキルは「英語とマナー」を挙げられ、そのマナーとは特に「服装」「食事」「振舞」が重要であり、また、人生のステップは、20代は“Vitality”、30代は“Specialty”、40代は“Originality”、50代は“Personality”でありたい、と説かれました。

梅岡比俊MBT特命講師

【医療法人 梅華会グループ理事長】

2022年6月13日

「Anything is possible」



梅岡氏は、“人生を豊かにする為に、一流のものに触れて、医療者以外の考え方も知って欲しい” “コミュニケーション能力を高め、自分の想いが伝えられるリーダーになって欲しい” “学歴とは、社会に出てから学んだ歴史が真の学歴だ” “やろうと思えばできる(Anything is possible)。そのためには多くの仲間を作ること” “対角線上のひとと付き合えば、いろんな知恵が出る。恐れは不要、大胆にことを為す” “健康を失えば、すべてを失う”などとお話され、医学部1回生のスタートを激励されました。

矢野博丈MBT特命教授

【(株)ダイソー創業者】

2022年7月4日

「厳しさが増す少子超高齢社会の生き様を助言」

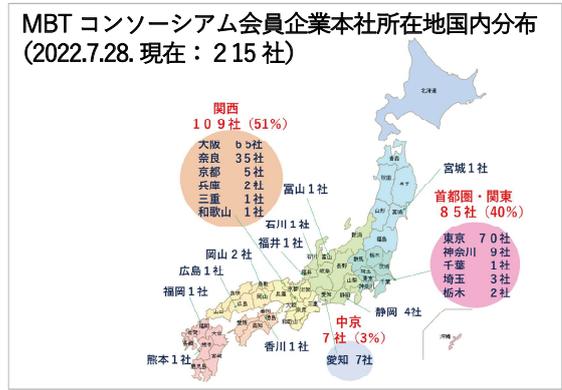
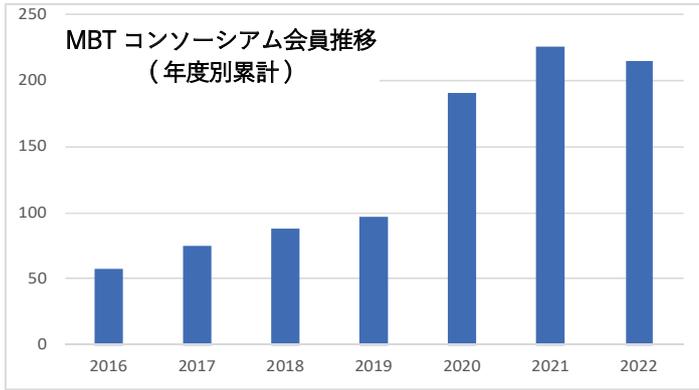


矢野氏は、近い将来、地球人口は100億を超え、現在のような目先の利益を追求する地球上の活動が続けば、将来には飢餓や食糧不足に陥る恐れが高まっている。我が国も将来、人口の半分が高齢者となり、人口も半分に減り、生産活動も消費者も減って、厳しい時代、貧しかった頃の日本に戻る可能性がある。海外を回っても、かつての日本企業の強みは失われ、日本はいろいろなもので負けている。日本には、蒙古襲来に神風が吹いて以来、“何とかなる理論”がはびこっている。皆様は、厳しい国に生まれてきている、ということをお忘れはいけません。そして、今までこ

られたことには、両親やご先祖に感謝しなければならない。入社式の訓示で、アメリカのバッファローの話を紹介している。バッファローは、新しい餌場を求めて3万頭が群れをなして300kmを大移動する。ワニが潜む河を渡り、ライオンが待ち受ける草原を越え、深い谷や崖を越えていく過酷な移動で、弱いものは脱落する。移動の先頭には若い2,3頭のバッファローがリードして進む。皆様にはぜひ、群れをリードする若い2,3頭のバッファローになっていただきたい。

MBT コンソーシアム情報：会員数の推移と本社所在地国内分布

MBT コンソーシアムは、2016年4月に57会員で発足、2017年～2019年は微増、2020年にはコロナ禍対策等の取り組みで一気に会員数を増やし、2022年7月28日現在で215社となりました。そして、会員企業の本社分布も東京70社、大阪65社をはじめ、22都府県に拡大し全国的な活動になってきております。



奈良県立医科大学と共に、医学を基礎とする安全、安心のまちづくりを通じて、社会に貢献するMBTコンソーシアム会員 215企業・団体(業種別で記載) (2022年7月28日現在)

業種別	MBTコンソーシアム会員	企業数
建設	(株)イムラ、(株)奥村組奈良支店、(株)片山工務店、(株)きんでん奈良支店、(株)グッドドライブ、グリーンアーム(株)、(株)崎山組、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、(株)内藤建築事務所、(株)中尾組、松田電気工業(株)、(株)松田平田設計、(株)ライフアートプランテック	15
食品	石井物産(株)、江崎グリコ(株)、(株)MID、(株)大阪王将、春日井製菓(株)、カバヤ食品(株)、カンロ(株)、キリン(株)、三和澱粉工業(株)、タヒボジャパン(株)、UHA味覚糖(株)	11
繊維・パルプ・紙	(株)イムラ封筒、(株)サンロード、(株)島田、(株)新生、住江織物(株)、(株)高木包装、高橋練染(株)、帝人フロンティア(株)、東洋紡(株)、(株)Bonrich、(株)三笠、モード・ユニット工房(株)	12
化学	旭化成(株)、石原産業(株)、SBカワズミ(株)、積水マテリアルソリューションズ(株)、(株)テクノープル、ナスクナノテクノロジー(株)、ナノソリューション(株)、三菱ガス化学トレーディング株式会社、明晃化成工業(株)、山本商事(株)	10
医薬品	クオール(株)、(株)グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業(株)、塩野義製薬(株)、新大和漢方(株)、積水メディカル(株)、中外製薬(株)、(株)ツムラ、日本ペーリンガーインゲルハイム(株)、美商堂製薬(株)、丸石製薬(株)、ロート製薬(株)	12
鉄鋼・非鉄・金属	東洋アルミニウム(株)、(一社)日本銅センター、丸一鋼管(株)、三菱マテリアル(株)	4
機械	グローリー(株)、KTX(株)、シンクス(株)、(株)タカゾノ、(株)カタトリ、DMG森精機(株)、テクノグローバル(株)、不二精機(株)、三菱重工パワー環境ソリューション(株)、ユニオンツール(株)	10
電気機器	(株)アイ・オー・データ機器、アイワ(株)、inQs(株)、(株)AirLabo、(株)HBコーポレーション、(株)エム・エイチ・シー、オーニット(株)、応用電機(株)、(株)オーディオテクニカフクイ、(株)カルテック、(株)環境改善計画、(株)コムテック、G-smart Japan(株)、シャープ(株)、シャープディスプレイテクノロジー(株)、(株)タムラテコ、(株)ドゥエルアソシエイツ、日本捲線工業(株)、パナソニック(株)、富士通Japan(株)、(株)フジファイブズ、マクセル(株)、(株)村田製作所	23
医療・精密機器	岩崎工業(株)、エア・ウォーター(株)、(株)ADI.G、(株)エンプラス研究所、大研医器(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、(株)ケアコム、セイリン(株)、セン特殊光源(株)、テルモ(株)、凸版印刷(株)、奈良精工(株)、ニプロ(株)、(株)ビーイージー、フクダ産業(株)、(株)プロルート丸光、丸三製薬バイオテック(株)	17
その他製造	あけぼの化成(株)、(株)ウイズユー、(株)エアリッシュ、エクレール(株)、(株)MTG、(株)オーシャン、オーブ・テック(株)、落合ライト化学(株)、カナサンテクノサービス(株)、グラストップ(株)、(株)くろがね工作所、(株)K&S、ケイミュー(株)、三友商事(株)、(株)J-STYLE、昭和西川(株)、(株)ゼノン、ダイドレ物流(株)、(株)デルフィーノケア、(株)半導体エネルギー研究所、(株)ビカッシュ、BIN(株)、(株)プチファーマシスト、(株)マンダム、やまと真空工業(株)、(株)REO研究所、氷川消毒(ラフェスタリンク(株))、レック(株)	28
商業	(株)イマナカ、(株)暁星ジャパン、(株)Yu Vision	3
金融・保険	アフラック生命保険(株)、MS&ADインターリスク総研(株)、城南信用金庫、損害保険ジャパン(株)、東京海上日動火災保険(株)奈良支社、奈良中央信用金庫、(株)南都銀行、日本生命保険(株)、(株)三井住友銀行	9
運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス(株)	1
情報・通信	アイテック阪急阪神(株)、(株)NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク(株)、コニカミノルタ(株)、(株)三技協、(株)産業経済新聞社、Takusu(株)、西日本電信電話(株)奈良支店、日新ネットワークス(株)、(株)日本経済新聞社、ビクシーダストテクノロジーズ(株)、(株)プロアシスト、(株)三菱総合研究所	13
電力・ガス	大阪ガスネットワーク株式会社(株)、関西電力(株)、(株)関西エネルギーソリューション、大和ガス(株)、奈良電力(株)	5
サービス	(株)アデランス、(株)アリエル、RFJ(株)、ALSOK昇日セキュリティサービス(株)、(株)インデックスコンサルティング、(株)SRA、(一社)観光品質認証協会、環境衛生薬品(株)、北関東総合警備保障(株)、(株)Kirala、(株)グローイング、(株)健康都市デザイン研究所、(一財)弘済会、(株)小山、(株)サンズバル、サンワテクノス(株)、セコム(株)植原支社、大和リゾート(株) THE KASHIHARA、(株)ディー・エヌ・エー、(株)ドクターネット、(株)ドトルールコーヒー、(株)奈良ホテル、(株)日経アドエージェンシー、ニューロンネットワーク(株)、(同)force、(株)プレス、ヘルスグリッド(株)、明豊ファシリティワークス(株)、(株)メディカルノート、メディケアリンク(株)、(株)ライフビジネスウェザー、(株)レスコ、ロイヤルコントラクトサービス(株)、(株)ローソン奈良支店、ワタキューセイモア(株)	35
公共・その他 (自治体、大学、病院等)	医療法人社団梅華会、橿原市、東急(株)東急病院、(一社)奈良経済産業協会、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友誼会病院	7

※入会のご希望やお問い合わせは、下記事務局へ (年会費:5万円)

一般社団法人 MBTコンソーシアム

〒634-8521
 奈良県橿原市四条町840番地 奈良県立医科大学 研究推進課内
 TEL : 0744-29-8853 FAX : 050-3164-5598 E-mail : mbt@mbt.or.jp
 会員ご相談・お問い合わせ窓口：塩山忠夫



<https://mbt.or.jp>
 2022年7月28日現在のものです